



2020 年度 大阪医科大学(前期) 一般入学試験

I

- (1) しかし、資源が無限にあるわけではないのだから、頭を使い手持ちの資源で最大の効果を上げるにはどうすればよいのかを考え出すことが、最も思いやりのある行動なのである。
- (2) 慈善団体やメディアによって絶え間なく示される人々の苦しむ姿に加え、膨大とも思えるような数字が用いられることにより、人々の世界観は歪んでしまうのである。
- (3) 420 万という 2016 年の乳児死亡数は 1950 年の 1440 万と比較すると著しく低く、実際過去最小の値であるから。(49 字)
- (4) しかし、いかに行動し、いかに資源に優先順位をつけて配分するかを理解するには、冷静に計算を行い、何がうまく機能し何が機能しないのかを認識すること以上に重要といえるものはないのである。

II

- (1) このように、インターネットを際限のない、自由探索が可能なものとみなすことは、ひょっとすると浅はかで傲慢であるかもしれないが、英語を話す人間にしてみれば、まったく理由のない特権意識というわけでもないのだ。
- (2) もしあなたが使っている言語が消滅の危機に瀕したものである場合、それがインターネット上で全く使われなくなる可能性がある。インターネットは、際限のないものであるどころか、あなたが使っている言語と同じだけの大きさしか持たないものであるように思われる。
- (3) しかし目下のところ、言語という観点から見ると、インターネットは包括的で誰もが利用できる公共の場であるという主張は、ますます空虚なものに聞こえてしまうのである。

III

- (1) These beliefs, which are based on the premise that female and male brains have their own properties, have contributed to the formation of the fixed idea that boys tend to think in a scientific and logical way, whereas girls tend to be emotional and not suited to science.

(2) Stereotypes like this originated from old myths about gender differences, and they have kept people from judging others according to their personal characters.

(3) The development of brain science during the last thirty years, however, has shown that our brain functions can change throughout life, depending on our life environments, education, work, hobbies, and so on.

【 講評 】

英文和訳は全体的に標準レベル。とりわけ難問と言える下線部は存在しないが、文脈を正しく把握した上での訳出が必要。単語に関しても、辞書や単語帳で覚えた訳をそのままあてはめるといったことのないようにしたい。和文英訳に関しても、大阪医科大学であることを考慮すれば標準レベル。ただし、普段から正しい語法・文法知識に基づいて英文を書くという練習をしていないと歯が立たないかもしれません。

I. 下線部和訳問題・説明問題	難易度：やや易しい
(1)(2)(4)の下線部和訳では、構文自体は平易であるが、訳出に少々苦労する箇所が散見される。(4)の prioritize などは、大阪医科大学らしく、文脈を把握していないと適切な訳出はしづらいだろう。(3)は下線部の次の段落の内容を 50 字以内にまとめよ。	
II. 下線部和訳問題	難易度：標準
英文全体の内容の理解は容易であるが、大問 I と比べると下線部の構造の把握がやや複雑な箇所がある。丁寧な構造分析を普段から心がけているかどうかで大きく差が出る問題。	
III. 下線部英訳問題	難易度：標準
大阪医科大学に特徴的なややかたい日本文の和文英訳問題。何と言ってもまずは正確に日本語の意味を把握することが必要。その上で be based on A, contribute to A, keep[prevent] O from doing, according to A, depending on A といった極めて基本的な表現を適切に駆使して英文を構築したい。	

最終合格へのラストスパート!!!!!!

医学部後期入試対策講座

埼玉医科大・金沢医科大・藤田医科大

大阪医科大・関西医科大・近畿大・久留米大 申し込み受付中

お問い合わせは 0120-148-276 イシャ ニナロウ